令和６年度

# 事　業　報　告　書

（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

社会福祉法人あいあい福祉会

特別養護老人ホーム　みず和の郷
シ ョ ー ト ス テ イ　みず和の郷
居宅介護支援事業所　みず和の郷

社会福祉法人あいあい福祉会

【法人基本理念】

『共に生きる　しあわせ』

【みず和の郷基本理念】

１、　お年寄りが人としての尊厳をもって地域や施設の中で、その人らしい　自立した生活を送れるように支えていきます。
２、　職員が和を持ち、「奉仕・愛情・信頼」の心を根幹として、毎日が心豊かな日々でありますよう全力をあげてお守りいたします。
３、　施設が地域住民・関係団体と活発に交流し、地域と共に生きることを目指していきます。

【みず和の郷基本方針】

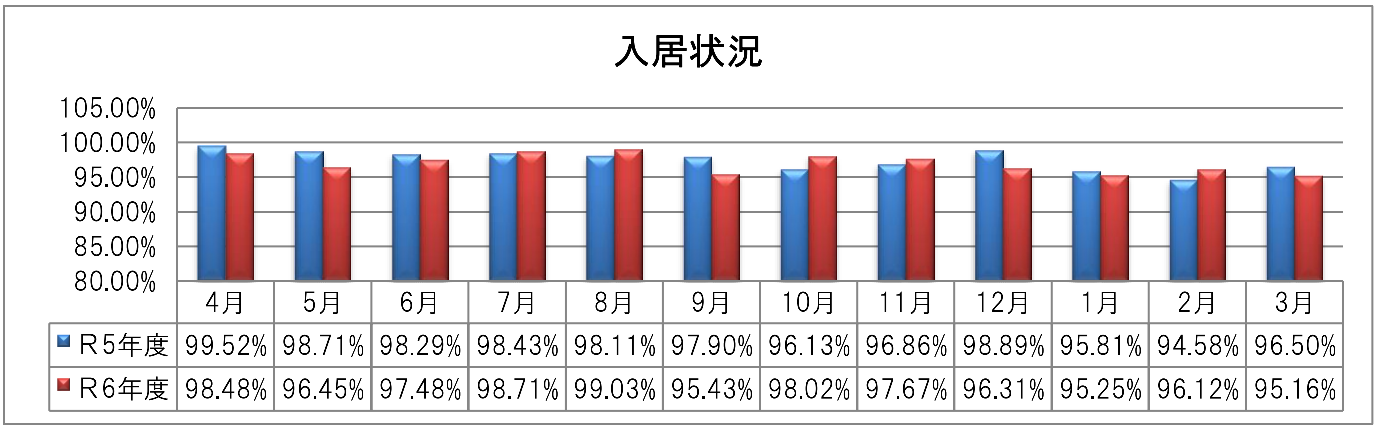
１、　お年寄りの人権を守り、心身ともに健やかな生活を営むことのできる生活支援の取り組みに努める。
２、　お年寄りと職員が、介護を通じて相互の信頼関係の強化に努める。
３、　お年寄りと職員が、共に生きる喜びをあじわうことのできる施設造りをする。
４、　職員すべては、その職務において介護の専門性を向上させるため、学習とその実践に邁進する。
５、　お年寄り一人ひとりが豊かな生活の確保と地域社会に参加できるように支援する。

《支援部門》

1、特養入所状況

| | 入居者（人） | | | 延べ日数 | 居室 | | 入居者（人） | | | | 居室 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入居者数 | 入居 | 退居 | 合計 | 稼働率 | | 入居者数 | 入居 | 退居 | 合計 | 稼動率 |
| 4月 | 69 | 1 | 0 | 2,068 | 98.48% | 10月 | 70 | 2 | 1 | 2,127 | 98.02% |
| 5月 | 69 | 1 | 1 | 2,093 | 96.45% | 11月 | 70 | 1 | 1 | 2,051 | 97.67% |
| 6月 | 68 | 2 | 3 | 2,047 | 97.48% | 12月 | 69 | 2 | 3 | 2,090 | 96.31% |
| 7月 | 70 | 2 | 0 | 2,142 | 98.71% | 1月 | 68 | 2 | 3 | 2,067 | 95.25% |
| 8月 | 70 | 0 | 0 | 2,149 | 99.03% | 2月 | 70 | 2 | 0 | 1,884 | 96.12% |
| 9月 | 69 | 1 | 2 | 2,004 | 95.43% | 3月 | 69 | 3 | 4 | 2,065 | 95.16% |
| 合　計 | 令和５年度　月平均稼働率　97.48% | | | | | | | | | | |
| | 令和６年度　月平均稼働率　97.01% | | | | | | | | | | |

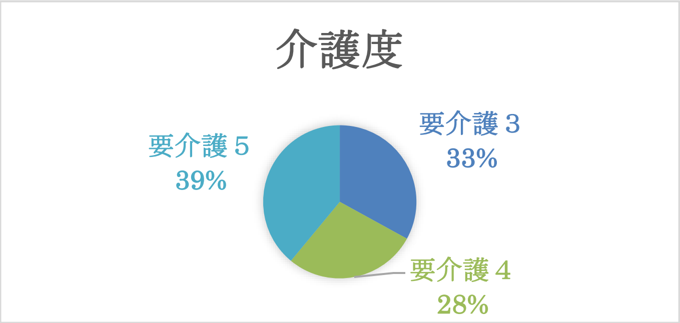
・前年度と比較し稼働率は0.47%減少。退所者は20名以下で前年度より少なかったものの、入院者の増加により稼働率低下に繋がった。同じ方が何度も入退院を繰り返したり、入院し病院で亡くなる方もおられ、ご入居者の医療依存度が高くなっているのが要因と考えられる。
・状態が悪くなった際にご家族に確認しながら早めの受診・入院という対応を行ったという点ではご家族のご意向に添った対応ができたのではないかと思われる。

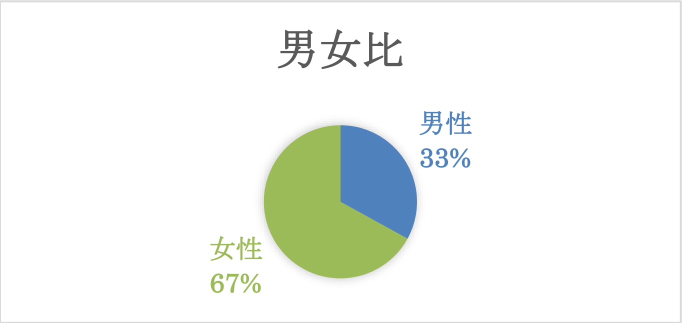



入院者数・延べ日数

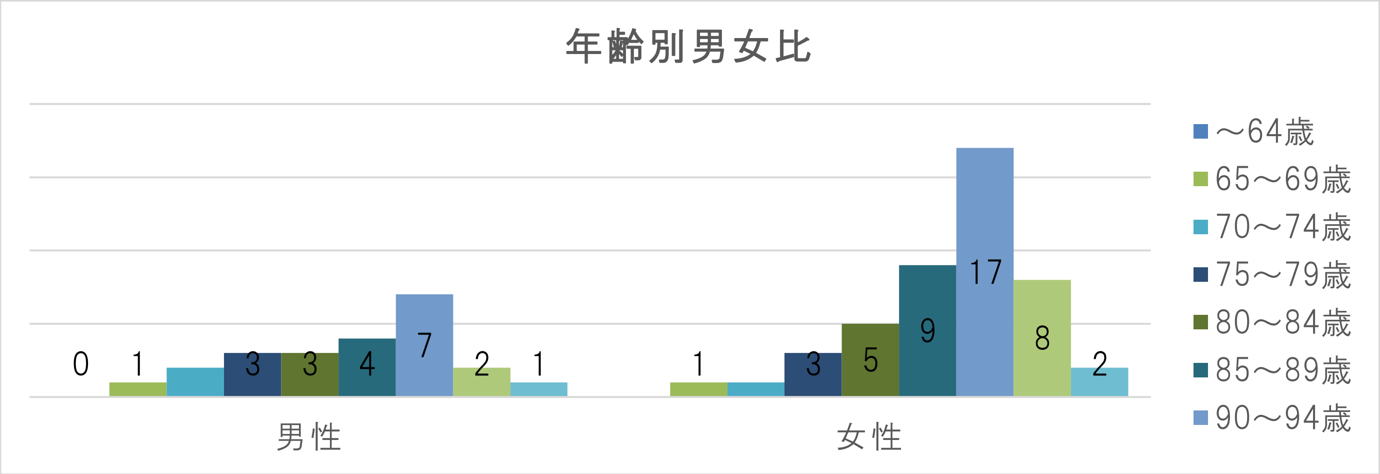
| R５年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実人数 | 0 | 2 | 3 | 3 | 3 | 5 | 5 | 3 | 1 | 5 | 6 | 2 | 38 |
| 延日数 | 0 | 27 | 19 | 34 | 38 | 36 | 79 | 61 | 9 | 71 | 60 | 42 | 476 |
| R６年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 実人数 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 4 | 3 | 2 | 3 | 6 | 6 | 5 | 41 |
| 延日数 | 30 | 51 | 20 | 21 | 21 | 84 | 38 | 41 | 64 | 72 | 65 | 56 | 563 |

2、在籍者別年齢・要介護度等




平均介護度　4.0　（男性　3.9　、女性　4.0）




平均年齢　88.1 歳（男性　85.7 歳　、女性　89.4 歳）（最高　101 歳　、最低　67 歳）

・要介護度の平均が昨年度 4.28 今年度は 4.0 と上がり、50%ほどだった要介護 5 の割合も 39%に減り要介護 3 の割合が上がっている。動ける方の新規入所が増えている反面、転倒のリスクも高くなっているため、転倒予防しながら身体能力を維持できるよう努めている。状態変化の際には適宜区分変更を行い介護度の適正化を図っていきたい。

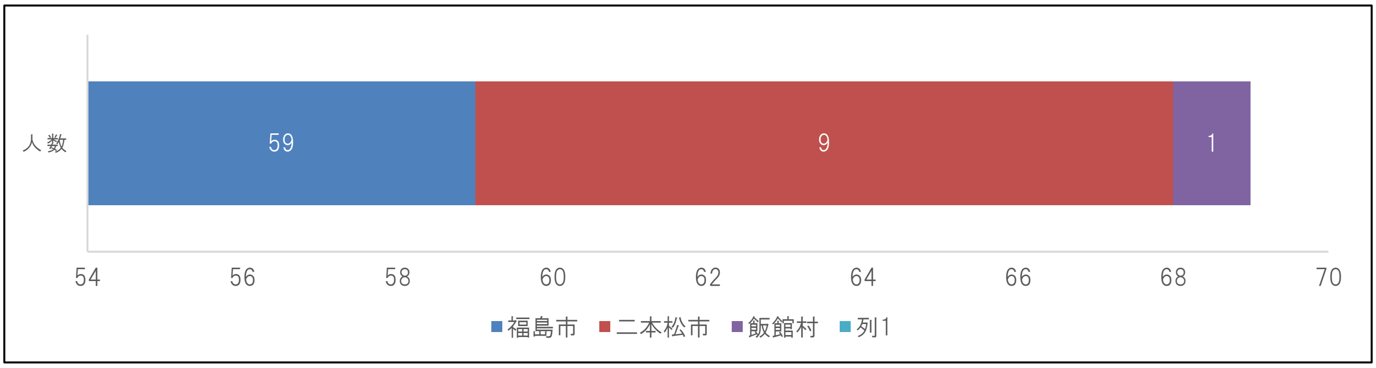
3、在所期間入所者状況（退所者含む）　　　　　　　　　　（令和 7 年 3 月 31 日現在）

| | 1 年未満 | 1 年以上<br>3 年未満 | 3 年以上<br>5 年未満 | 5 年以上<br>10 年未満 | 10 年以上<br>15 年未満 | 15 年以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男性 | 7 | 12 | 4 | 7 | 0 | 1 | 31 |
| 女性 | 15 | 19 | 7 | 14 | 1 | 1 | 61 |
| 合計 | 22 | 31 | 11 | 21 | 1 | 2 | 88 |
| 割合(%) | 25.0% | 35.2% | 12.5% | 23.9% | 1.1% | 2.3% | 100% |

| 平均在所日数 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|
| 3 年 3 ヵ月 | 3 年 3 ヵ月 | 3 年 3 ヵ月 |
| 最高在所日数 | 16 年 1 ヵ月 | 18 年 5 カ月 |

・平均在所日数は前年と比べほぼ前年度と同様となっているが、1 年未満で亡くなるケースもあり、3 年未満の割合が半数以上を占めている。

４、保険者（R7.3.31 時点）　（人）




**５、令和５年度特養活動報告**

Ⅰ．介護支援専門員

・令和６年度新たに９名の方が看取り介護開始となった。カンファレンスや看取り委員会、日々のやり取りの中で情報共有を図り状態に変化があった場合には迅速に対応できるように努めた。また、退所後には振り返りのカンファレンスを行いそれぞれの職種の立場から評価することで、今後の看取り介護に活かせるような気付きを得られている。

・入退所が続く時期もあったが各部門の協力によりスムーズな受け入れができた。

・コロナにより面会を止めた時期もあったが、こまやかなご家族への連絡を心掛け繋がりが途切れてしまわないように努めた。

・季節毎に外出の機会を作ったことで、春夏秋冬それぞれの季節を肌で感じて頂くことができた。一人でも多くの方に楽しんでもらえるように７年度も計画していきたい。

Ⅱ．生活相談員（特別養護老人ホーム）

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|---|---|
| 居室稼働率% | 98.27 | 97.31 | 96.38 | 97.48 | 97.01 |
| 入所者数 | 12 | 12 | 23 | 23 | 18 |
| 退所者数 | 11 | 12 | 23 | 22 | 19 |
| 平均介護度 | 4.12 | 4.29 | 4.26 | 4.28 | 4.06 |
| 入院実人数 | 21 | 45 | 53 | 38 | 41 |
| 入院延日数 | 393 | 597 | 734 | 476 | 563 |

・R5 年度と比較し、感染症が特養ユニット全体には蔓延しなかったこと、重症化しなかったことで退所件数が２年ぶりに 20 件を割った。月の稼働率も 95.16～99.03%と単月で見て大きく低下する月は無かったものの毎月入院者が出てしまい R5 年度の稼働率にはやや及ばなかった。

・逝去以外にも病院や療養型医療施設を希望され退所されたケースが２件有った。ご家族のご要望に沿って対応できた結果と考える。

・入院中には医療相談員に積極的にこちらから連絡し見通しを立て退院許可が出た際には早急に受け入れたが、１週間足らずに再入院となる方が２名おられ、両名ともその後病院で逝去されたということがあった。

・最近は自宅で入居待ちをしている方が少なく老健や別施設より転居される方が多い為、入居までの日数を要してしまっている。長い期間空床を作らない工夫が不可欠と感じた。また、平均介護度がやや低下しているため、優先順位だけではなく入所時の介護度も重視して受け入れるよう注意したい。

・入居して１年足らずで亡くなったケースが３名おられた。入居平均在所日数が一昨年度は３年未満 57.6%だったが昨年度は実に 60.2%という状況となっている。退所件数が増えると入居時

既に 90 代と超高齢だったり状態が安定しない方も受け入れざるを得ない状況となるため、月１件の退所を目指し日々他部門と協力し出来る限り長生き出来る対応を検討・工夫していきたい。

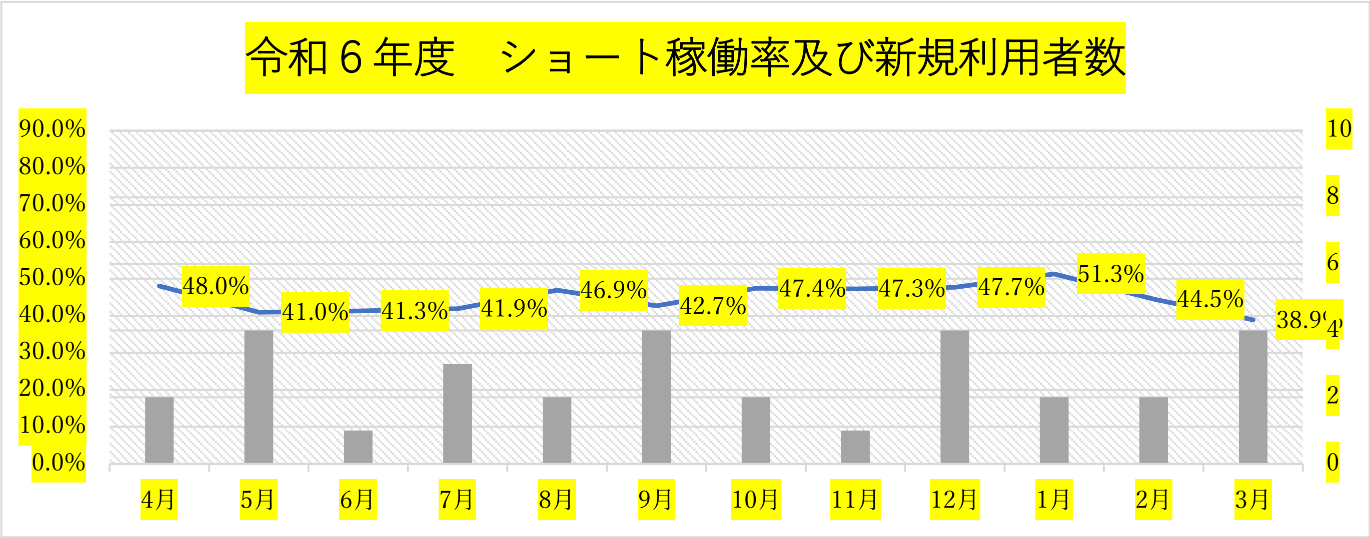
・ショートステイのロングを活用し特養が空いた時にはスムーズに移動を行うよう努めた。今年度は６件ロングショートステイより入居された。そのうちの５件は入所申し込み時にショートステイ利用やロングショートステイの利用を打診して入所に繋げられたケースだった。今後も入居申し込み時にショートステイの営業も行い顧客獲得していきたい。

・外出企画を率先して行い、沢山のご入居者とショートステイのご利用者を外出させることが出来た。気分転換になったと共にご家族にも施設玄関に掲示している写真等が大変好評だった。来年度も積極的に外出支援を行っていきたい。

## ６、ショートステイ実績、活動報告

| 月 / 理由別 | | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | １月 | ２月 | ３月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 利用者数 | 男 | 9 | 6 | 7 | 9 | 10 | 9 | 9 | 7 | 9 | 7 | 5 | 8 | 195 |
| | 女 | 23 | 24 | 23 | 22 | 21 | 21 | 22 | 24 | 25 | 22 | 20 | 17 | 264 |
| 延べ利用日数 | 支１ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 支２ | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| | 1 | 67 | 41 | 42 | 49 | 74 | 33 | 50 | 74 | 107 | 80 | 76 | 90 | 783 |
| | 2 | 64 | 42 | 39 | 52 | 65 | 46 | 51 | 20 | 23 | 30 | 13 | 30 | 475 |
| | 3 | 95 | 115 | 76 | 61 | 47 | 70 | 86 | 137 | 134 | 177 | 136 | 70 | 1204 |
| | 4 | 22 | 18 | 41 | 68 | 74 | 77 | 78 | 34 | 26 | 29 | 24 | 41 | 532 |
| | 5 | 32 | 38 | 50 | 30 | 31 | 26 | 26 | 19 | 6 | 2 | 0 | 10 | 270 |
| | 計 | 288 | 254 | 248 | 260 | 291 | 256 | 294 | 284 | 296 | 318 | 249 | 241 | 3279 |
| 稼働率 | ％ | 48.0 | 41.0 | 41.3 | 41.9 | 46.9 | 42.7 | 47.4 | 47.3 | 47.7 | 51.3 | 44.5 | 38.9 | 44.9 |
| R5 年度 | ％ | 39.7 | 37.8 | 40.0 | 46.1 | 49.0 | 47.4 | 49.0 | 43.0 | 47.6 | 50.3 | 43.1 | 45.7 | 44.9 |

※１ユニット休止



| 【居宅介護支援事業所名】 | (人数) | (定期) | 【居宅介護支援事業所名】 | (人数) | (定期) |
|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護支援事業所みず和の郷 | 6 | 6 | 大玉村松社会福祉協議会 | 1 | 0 |
| ライフ・タイム福島居宅介護支援事業所 | 2 | 5 | りんごの里 | 1 | 0 |
| あづま脳外居宅介護支援事業所 | 2 | 1 | ハッピー愛ランド | 0 | 1 |
| リブレ松川居宅介護支援事業所 | 1 | 2 | 愛の里 | 1 | 0 |
| 指定居宅介護支援事業所　ひまわり苑 | 0 | 1 | ケアプランにほんまつ | 1 | 2 |
| 土湯宝生園指定居宅介護支援事業所 | 1 | 2 | ふくしま緩和ケア支援事業所 | 0 | 1 |
| 指定居宅介護支援センター松陵 | 1 | 3 | JCHO 二本松病院居宅 | 1 | 0 |
| 大玉村指定居宅介護支援事業所 | 1 | 0 | はなしのぶ | 1 | 0 |
| 指定居宅介護支援事業所あだたら | 4 | 3 | さわやかアイリス | 1 | 0 |

・前期は KP の体調不良で老健ロング入所されたり、別特養へ入居したりと弊社ショートステイを長い期間ご利用頂いていた定期のご利用者の終了が相次いだ事や、8 月にショートステイの隣の特養ユニットで COVID-19 が発生したことから、ご家族希望により 9 月のキャンセルが増えたことで目標稼働率より大きく実績の稼働率が低下してしまう状況となった。

・後期は今まで紹介があまりなかった居宅からの新規案件を積極的に受け入れたことで、さらに別の方をご紹介頂いたり、ご夫婦での紹介を頂くことが出来た。3 月に長くご利用されている方が入院したり、ご家族の都合でキャンセルが相次ぎ、一時的に稼働率が低下してしまったが、以上のように新規ご利用者を出来る限り獲得したことで何とか 80％台を維持できた。さらに特養の空床が有れば出来る限り受け入れたことで、年間平均 90％台の稼働率を達成することができた。

・実績は特に紹介してくださる居宅を中心に届けるよう意識付け、その際にショートステイの空き状況や特養の入居申込書、施設だよりを持って営業活動を行った。さらに直近で紹介の無い居宅にも時間が有るときには訪問するよう努めた。

・施設 CM と協力し、生活相談員不在時も担当者会議等に出席することで居宅 CM・ご家族と顔の見える関係作りを行うよう努力した。よって生活相談員が不在時にも施設 CM がご利用者の状況を把握できていることで、二人揃っているときには時間を作って率先して外出企画し風船バレーやテーブル卓球、みんなの作品展の作品作り等飽きない取り組みを実践することが出来た。

・機能訓練指導員にポジショニングや歩行練習等依頼してＣＳ向上のため協力を仰いだ。ご利用者やご家族からは大変好評だった。
来年度も他部門協力して稼働率アップ出来る取り組みを行っていきたい。

・取り組みの例として、寝たきりの特養待機者のポジショニング依頼、ロングご利用者の歩行練習が可能かどうかの判断を依頼、右頸部骨折後の新規ご利用者の動きへの不安に対して助言を依頼した。

## 《介護部門》

### ○しゃくなげユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 花見外出 | １１月 | 誕生会 |
| ７月 | 七夕短冊作り | １２月 | 誕生会、クリスマス会 |
| ８月 | 誕生会 | １月 | 餅つき大会 |
| ９月 | 誕生会、敬老会 | ２月 | 節分 |
| １０月 | 芋煮会、誕生会 | ３月 | 雛祭り |

≪活動報告≫
１、床ずれしない様に体位変換は気を付けて実施できたが、口腔内の清潔保持が適切になされていなかった方がいた。
２、生活環境は掃除や室温等に気を付け、適切に行うことができた。
３、ご入居者のＡＤＬの変化に対応し、日常生活行動や食事形態等について安全に配慮した対応を行うことができた。
４、ご入居者間の親睦を図ることはできたが、その方の個性を理解した行事企画には改善の余地が残った。

〇しらかばユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 右輪台花見 | ９月 | 誕生祝 |
| ５月 | 母の日 | １０月 | 菊人形見学 |
| ６月 | 父の日、誕生会 | １１月 | みんなの作品展見学 |
| ７月 | 紫陽花見学 | １２月 | 白鳥見学 |
| ８月 | 誕生会、百寿祝 | ２月 | ミャンマー料理レク |

≪活動報告≫
１、ユニット会議を毎月開催し、スタッフ間の情報共有と業務改善を図ることができた。
２、職員同士、技術や知識に関する情報交換、指導や助言が行われていた。
３、行事やイベントの企画運営に関しても、上半期は予定通りの進行状況であったが、下半期は企画の遅延、感染症による中止等で満足に行えなかった。
４、看取り対象者の対応後、ご家族より感謝のお言葉をいただけたこと、また、そのご家族からのご紹介で、次のご入居者受け入れまでの実績を築けた。
５、24H シートの一覧作成を完了させ、簡素ながらもご入居者の暮らしぶりを一目で分かるようにした。また、月１回程度に見直し改訂を行った。
６、特定技能外国人の指導育成に関して、ユニットとしては受け入れ初年度として指導育成にあたったが、夜勤以外の勤務形態は１人で行えるよう成長した。

〇さくらユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 誕生会 | ９月 | 誕生会 |
| ５月 | 母の日、誕生会 | １０月 | 誕生会 |
| ６月 | 父の日、誕生会 | １１月 | 芋煮会、誕生会 |
| ８月 | 納涼会 | １２月 | クリスマス会 |
| | | ２月 | 豆まき、誕生会 |

≪活動報告≫
１、毎月ユニット会議は開催する事が出来、ご入居者の状態の変化やケアについて話合う事が出来た。また、ご入居者の状態変化に対して他職種とも連携を図り、統一したケアの提供は出来ていた。褥瘡を形成してしまった方がいたが、ポジショニングや体位変換など周知した事で完治する事が出来た。
２、ユニット内の清掃は定期的に行えた。ご入居者の状態に合わせ、机の設置を変更したり、居室内の環境整備の見直しも行えていた。

３、ユニット内での申し送りノートの活用や口頭での申し送りは行われたが、記録が不十分な時があった。新規入所された方の24Hシート作成取り組みが遅く完成出来なかったり、またその活用が出来ておらず、新人でも分かる様にしていく必要があった。
４、居室のタンス整理、フィルター掃除や窓拭きなど、ユニット内の清掃は定期的に行えていた。コロナ感染があり、都度感染対策についての確認はユニット内で行う事が出来たと思うが、実際に発生した際に対応が滞りなく行えるか自信がない職員もいる為、定期的な確認は継続していく必要がある。
５、誕生日以外の行事があまり実行されず、歌を歌ったり身体を動かすようなレクリエーションの様な参加出来るようなレクリエーションを考えていきたい。

○もみじユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 誕生会 | １０月 | 誕生会 |
| ５月 | 母の日 | １１月 | 誕生会 |
| ６月 | 父の日 | １２月 | ｸﾘｽﾏｽ会、ﾐｬﾝﾏｰ料理レク |
| ７月 | 七夕（短冊作り） | １月 | 団子さし |
| ８月 | 納涼祭、誕生会 | ２月 | 節分、誕生会 |
| ９月 | 敬老会 | ３月 | 誕生会 |

≪活動報告≫
１、ご入居者一人ひとりのADLの把握に努め、ADLの低下や食事摂取状況の変化など状態に合わせた対応をする事ができた。改善提案に関しては限られた職員からしか出なかったため、ユニット職員全員で考え、行動できるようユニット会議の進め方を工夫したり、意見を言いやすい環境、関係づくりに努めた。
２、ご入居者、ご家族とのコミュニケーションは適切に取れていた。特に看取りのご入居者のご家族面会時の状態の報告、現在のケアについてなどの会話は大事に行うことができた。
３、職員間のサポートは自然と出来ていて、互いに声を掛けあい、補いながらいい環境づくりが継続できた。今後は自ユニットで出来ているサポートを対ユニット間でも積極的に行えるよう協力体制の強化をしていきたい。

○けやきユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 花見外出 | １０月 | 秋祭り |
| ５月 | 母の日 | １１月 | 菊人形見学 |
| ６月 | 父の日 | １２月 | クリスマス会 |
| ７月 | 七夕 | １月 | 新年会 |
| ８月 | 夏祭り | ２月 | 豆まき |
| ９月 | 誕生会 | ３月 | ひな祭り |

≪活動報告≫
１、それぞれの疾病や疾患に対して、本人の希望を汲み、看護師と協力し合い通院、服薬の管理を行ったことで、大きく状況が改善された事例があった。
２、24Hシートについて着実に充実した内容にすることができた。このことで一覧化した24Hシートは、ヘルプに入った職員に好評だった。
３、日勤者不在時にも、声を掛け合い協力し合い業務を行えた。その日の職員の出勤状況に合わせ、自発的に情報発信できたことが要因と思われる。

4、情報の伝達、及びその実践は、不十分であったと思う。何かを伝える際には、①口頭、②申し送りノート、③手書きのメモ等で残し、皆で共有し合い、実践しに繋げていく。

○あだたらユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 花見ドライブ | １０月 | 調理レク、菊人形見学 |
| ５月 | 母の日、料理レク | １１月 | 秋祭り |
| ６月 | 父の日、音楽会、紫陽花 | １２月 | クリスマス会 |
| ７月 | 運動会、退院祝い | １月 | 小正月 |
| ８月 | 音楽会、花火大会 | ２月 | 節分、バレンタイン、調理ﾚｸ |
| ９月 | 誕生会 | ３月 | 誕生会 |

≪活動報告≫

１、調理レクはご入居者と一緒に行う機会が少なく次年度への課題となった。ご入居者のＡＤＬの変化に対応し、どのような作業、どの時間帯であれば一緒に調理を楽しむことが出来るかを課題とし次年度も「食べる楽しみ」の時間を設けていきたい。

２、ユニット会議は感染対応時以外、職員間の情報共有と業務統一の為の話し合いをする機会として機能していた。また、職員が委員会や意見をまとめて話をする機会でもあり、考えを纏める、伝える練習の場ともなった。介護技術の差が出ていることも踏まえ、後半より機能訓練士より移乗や移動のアドバイスを貰いながら現場に活かしていくことが出来た。

３、看取りの部分では常に「その人らしさ」を大切にし、ユニット職員、医務職員と話をしながら細かく対応出来たように感じる。今後も必要なケアを提供出来るよう学ぶ機会を増やしたい。

４、感染対応時の対応方法について統一されてない部分が散見された。今後も感染対応は重要となってくるため、どの様に周知していくかが課題となっている

５、ユニット間の相談、対応時の不安などをすぐに話し合うことが出来た事は良かった。話し合った結果を速やかに 24H シートに落とし、情報共有にも繋がった。

○ささもりユニット

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 花見外出 | １０月 | 料理レク |
| ５月 | 母の日 | １２月 | クリスマス会 |
| ６月 | 父の日、紫陽花見学 | １月 | 正月遊び |
| ８月 | 料理レク、花火大会 | ２月 | 雛祭り |

≪活動報告≫

１、毎月のユニット会議にてご入居者の変化と対応方法についてまとめ、全員が認識を統一出来るようにした。また、各自がテーマを決めて、普段当たり前にやっている・知っていることについての理解を深めるミニ勉強会も毎月行い、介護の質にばらつきが少なくなるように努めた。

２、24 時間シートは大まかには全員分作りはしたものの、内容の精査や作成後の変更・修正までには至らなかった。次年度は各メンバーのクリエイティブな業務（各種企画立案・作成や業務への提案等）に対する意欲・能力向上を目指したい。

○ショートステイ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4月 | おやつレク | 9月 | 敬老会、料理レク |
| 5月 | 母の日 | 10月 | 季節のスイーツレク |
| 6月 | 父の日 | 11月 | 料理レク |
| 7月 | 花火レク | 12月 | クリスマス会 |
| 8月 | 手作りスイーツレク | 3月 | 料理レク |

≪活動報告≫

１、家庭での生活を理解するために、相談員との「ほうれんそう」を密に取り、家庭の延長としての生活を支援する事に努め、

２、集団生活への切り替えが上手く出来るように、コミュニケーションの促しや介入を行った。

３、ユニット会議に限らず、職員間での声かけや申し送りの際に情報共有を行い、利用者の最新の状態をすり合わせる事に努めた。

４、他部門との情報共有を図ったが、すり合わせが上手くいかない事が多かった。来年度は、様々なツールを使って情報共有を図りたい。

## 《看護部門》

○看護活動報告

１、健康状態の把握

他職種と連携し、健康状態の把握と異常の早期発見に努め、異常時に迅速な対応を行い状態悪化の予防に努めた。短期入所ご利用者に関しても、早期の対応にて体調悪化の予防に努めた。

２、定期健康診断

入居者・・・年１回の基本健診　８月実施
職　員・・・年１回の基本健診　２・３月実施
腰痛検査年２回　７月と２・３月の基本健診時に実施。（夜勤を行う職員と看護職員）
年１回のストレスチェックを実施した。

３、健康の維持

・健康診断を実施し、受診に繋げることができた。
・ご入居者の状態変化について、介護職員を中心に他部門と情報共有することができ、ご本人やご家族にとってより良い選択をすることができた。

４、感染症対策委員会の活動

感染症の知識を深めるため、施設内研修を年２回実施した。また、感染対策マニュアルの見直しや感染症を予測した取り組みが出来た。

５、新型コロナウイルス、インフルエンザ予防接種実施

嘱託医と協力し、国の新型コロナウイルスワクチン接種時期に沿って、日程調整を行い実施した。

６、緊急時の対応

・救急蘇生の方法と手段について定期的に勉強会を実施した。
・医療依存度の高いご入居者などは、個別の医療的な内容についてのマニュアルを作成し、必要に応じて勉強会を開催した。

・感染予防委員会と協力し感染拡大の予防に努めた。

7、他医療機関、主治医との協力体制

ご利用者の状態、症状に合わせ主治医や医療機関との連携が図れた。

8、ターミナルケア

看取り委員会の定期的な開催ができた。今後も看取りに関する勉強会を開催し、職員の意思の統一と積極的な関り、職員主体の看取り介護となるよう努める。

ご入居者やご家族の意思を汲み、充実した生活を最期まで支えるケアを提供するため、医療連携方針の明確化を図るとともに、ご入居者やご家族とのコミュニケーションを大事にし、職員一人ひとりの知識（気持ち）と技術の向上に努めた。

**〇機能訓練活動報告**

1、ご利用者の心身機能、嚥下機能、ADL 動作能力の評価について

・個別介入時や食事介助にてラウンドした際などに状態の変化がみられた時、専門的な立場からの意見を各部門に報告・発信し、家族への連絡、医療機関への打診検討、生活様式や福祉用具の見直しなどに連携を図ることができた。

・OT、PT 各々の専門的な視点からご利用者の状態を評価し、お互いの知識や経験等意見を出し合いながら介入することができた。

・認知症状が強く精神的興奮が起きやすい等の理由で敢えて介入を控え、生活リハビリとして過ごしていただいているご利用者に関しては十分な評価ができない状態であった。そのため、ADL の低下や身体疼痛等の訴えがあった際に指標がなく、事象前後の比較ができず状態把握・評価に難渋した。

2、ご利用者やご家族からの HOPE・NEED の聴取について

・コミュニケーションの図れる方からは希望の聴取をすることができた。

・ご家族から希望や、ご利用者の昔のご様子をお伺いし必要に応じて他部門に情報共有することができた。

・大半のご利用者からは希望を聴取しても「わかんない。ないな。」といった返事も多く、具体性のある内容を聴取することが困難であった。

・ご家族から入所時以降に機能訓練が直接希望を聴取する機会をもつことが少なかった。

3、個別、集団リハビリの実施やレクリエーション活動、気分転換等の機会の提供について

・個別リハビリの希望があるご利用者からは 「待っていたよ。」と楽しみにされているお言葉が聞かれ、ご利用者の機能の維持と共に気分転換の機会を提供することができた。

・集団リハビリも昨年より多い頻度で実施することができ、普段個別で関わることが難しいご利用者も他利用者を介しながら参加を促すことができた。

・ご利用者の認知機能や身体機能等のレベルに合わせてグループに分け、レベルに沿った内容を提供できた。

・身体介助が難しいご利用者へは 2 人体制で介入することで、安全かつより良い方法を見出しユニット職員に伝達することができた。

・ご利用者のポジショニング方法の伝達が難しく、統一したケアに難渋した。

・集団リハビリでご利用者の人数が増えた際に見守りが薄手となってしまった。

4、環境整備（福祉用具の選定）について

・車椅子の点検方法の改善案を提言し、事故防止委員会にて調整するまでに至れた。

・車椅子の使用方法や手入れの仕方をユニット会議の時間を利用しレクチャーすることができた。

・福祉用具を清潔に保管できるようにこまめな手入れを行った。
・ナンバリングや洗濯の出し方の周知をしたことでストッキネットクッションやクッションの紛失が軽減した。
・福祉用具の所在がわからないことや、数が少なく必要時に使用できないことが多々あった。

５、施設資源として介助用具、レクリエーション用具、余暇活動用品の準備・作成について
・今年度も茶葉巻きのアルファーゼを使用することが定着し、皮膚トラブル発生が軽減した。
・機能訓練のレクリエーション用具を貸出し、ショートステイのご利用者に楽しんでもらえる機会があった。
・機能訓練が携わっている以外の余暇時間はリビングで何もなく過ごされているご利用者も多く見かけた。

６、新しい知見を得るための勉強会・研修会への参加について
・事務課からのアナウンスもあり、施設に案内の来ていた研修を受講することができた。

７、他職員に向けての勉強会の開催について
・機能訓練主催の勉強会を開催することができなかった。

《栄養部門》

１、旬の地場産物を取り入れた昔ながらの季節の行事食を提供し、食事で季節感を味わっていただけるようにした。（食事報告参照）

２、嗜好調査の結果をもとに、人気のある献立や旬の食材を使った手作り味噌の提供を行い、日々の献立の中に季節を感じて頂けるよう工夫できた。

３、クリーンタイムを設けて定期的に清掃を行い、漏れが出ない様よう曜日と場所を設定して実施した。誰が実施しても同じような作業ができることが課題として残った。

４、栄養ケアを実施し、カンファレンスや委員会を通じて各部門と連携し、　栄養介入することができた。食事が摂りづらくなってきたかたへは、個々人に合わせて食事内容も考慮した。

５、ユニットで個々人の起床時間に合わせた食事の提供ができるよう、７月１日より、朝食の提供方法に、真空包装機を導入した配膳方法へ変更した。それに伴い、厨房内の業務の分担や作業工程の内容を一掃した。真空包装機に向く献立内容の調整や、配膳で混乱を招かないよう配膳方法に関するユニットへの丁寧な説明を行った。厨房の勤務時間は開始出勤時間を２時間半、終了勤務時間を３０分短くすることにより、時間的な働きやすさにも繋がるように改善した。

## 《会議、各種委員会報告》

**○職員全体会（3 カ月毎開催）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 6 月 28 日 | 就業規則改定説明、５年度収支報告、求人 SNS について、BCP 研修、新型コロナ対応情報共有など | 12 月 28 日 | 利用者満足度調査結果報告、会議等の進行について、外国人送迎、事務連絡、身体拘束防止研修など |
| 9 月 29 日 | 事務連絡、面会ルール確認、医療対応情報共有など | 3 月 29 日 | 夜間医務ｵﾝｺｰﾙ体制、次年度栄養部門体制、面会時間変更、身体拘束防止研修など |

○調整会議

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4月17日 | 新処遇改善手当の支給方法、医務職員勤務体制など | 10月16日 | 研修内容、外出介助方法、食材保管方法、情報共有など |
| 5月15日 | 業務効率化計画、特別休暇制度改定、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ受入、外国人OJT課題、情報共有など | 11月20日 | 人事考課、研修内容検討、満足度調査結果報告、各種予防接種、外国人OJT方法など |
| 6月19日 | 満足度調査内容検討、食事提供方法改正、決算報告など | 12月18日 | 自己評価、非常時の食事提供方法、情報共有など |
| 7月17日 | 満足度調査関係、食事提供方法改訂、情報共有など | 1月15日 | 面会ﾙｰﾙ改訂、委託医の特別往診時間検討、口腔ケア研修、新型コロナ隔離期間、外国人の不安共有など |
| 8月21日 | 満足度調査結果、コロナ対応情報共有、情報共有など | 2月19日 | 自己評価、面会ﾙｰﾙ、情報共有など |
| 9月20日 | 職員面談内容共有、行事や研修等の情報共有など | 3月19日 | 面会ﾙｰﾙ、自己評価結果検討、看護体制、食事代算定のﾙｰﾙなど |

○ユニットリーダー会議

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4月 4日 | 各種委員会担当割振、職員面談、ﾕﾆｯﾄ会議進行内容、ﾕﾆｯﾄｹｱ構築など | 10月 3日 | 各種委員会報告、各種情報共有など |
| 5月 2日 | 機械浴人員確保、各種委員会情報共有、外国人ｽﾀｯﾌ指導方法、記録方法統一など | 11月 7日 | 各種委員会報告、各種情報共有など |
| 6月6日 | 食事提供方法、各種委員会報告、外国人ｽﾀｯﾌ指導方法など | 12月5日 | 勉強会内容検討、満足度調査結果、各種委員会報告、各種情報共有、共有部分での休憩方法など |
| 7月 4日 | 食事提供変更点、各種委員会報告、外国人ｽﾀｯﾌ指導方法など | 1月 10日 | 非常食の保管、感染症対応、各種委員会報告、委員会の統廃合、研修計画等 |
| 8月 1日 | 食事提供方法変更、各種委員会報告、外国人ｽﾀｯﾌ指導方法、各種情報共有など | 2月 7日 | 次年度計画、外部への情報発信ﾙｰﾙ、面会ﾙｰﾙ、、研修計画、各種情報共有など |
| 9月5日 | 満足度調査、コロナ対応反省、各種委員会報告、各種情報共有、外国人ｽﾀｯﾌ指導方法など | 3月6日 | 自己評価結果、面会ﾙｰﾙ、研修計画、リーダーの条件、各種情報共有方法など |

○教育委員会

・書籍（月間デイ、レクリエ、ブリコラージュ）を購入。
　月刊デイは過去2年分を保管し、それ以前の書籍は職員が自由に利用できるようにした。
・コロナ対応を継続しながらも外部講師による対面講義を再開し、コロナ前の研修体制を復活させた。
・他委員会と協力して各種ミニ勉強会を開催した。

**〇感染・褥瘡予防委員会**

・コロナの検討に時間を要し、他の感染症や吐物処理研修等に十分な時間を摂れなかった。
・感染標準予防策を全職員がしっかり行えるよう取組んだが、新型コロナのクラスター―が複数回起きてしまった。

**〇自己評価委員会**

近年は新型コロナのクラスター―により実施できなかったが、３年ぶりに評価を実施できたので、結果を各種委員会や役職者で情報共有して改善提案を検討した。

**〇事故防止、身体拘束防止委員会**

・当初計画した内容はおおむね実施できたが、事故防止意識の構築度合いは満足できるレベルに無かった。
・車いす点検を３か月毎に実施したことで、不具合の早期発見と事故防止に努めた。
・事故防止、身体拘束防止の研修を各２回実施した。

**〇栄養管理委員会**

・朝食の提供方法を変更し、食材が十分に加熱されるように改良を加えると同時に、個々の状態に応じた食形態変更を行った。
・行事食等の際、安全に食事提供できるよう、委員が予め内容を把握し、他の職員に周知できるようにした。
・朝食を真空調理に変更したため、介護職員が戸惑わない様情報発信した。
・衛生チェック表を作成し、ユニットキッチン回りや食材保管方法について、適切な環境を維持できるよう努めた。

**〇行事委員会**

・コロナ対応を継続しながら季節に合わせた行事を実施したり、支援部門の協力を得て外出等も行った。
・介護度の重症化により福祉作品展に参加できる方が減少したが、昨年同様複数のユニットが協力して一つの作品を作成し、物を作り上げたり、賞を受賞する喜びを感じて頂けた。

**〇看取り委員会**

・看取りに関してご家族の意向に沿って納得のいく説明や相談の機会を多く持ち、安心して最後が迎えられるよう不安の軽減に努めた。
・ケアカンファレンスを通じ介護計画を基に、職員間の情報共有を行った。
・看取りの振返りを行い、慣れ防止や対応力向上を図った。

**〇業務改善委員会**

・委員会内で活発な意見交換が行われ、年間 20 以上の提案が出された。
・ご利用者の状態に合わせて排泄や機械浴対応がスムーズに行えるよう改善を行った。

**〇衛生委員会**

・毎月働き易いと感じられる環境を作る意見交換ができた。
・予定していた定期健康診断やストレスチェックを行い、改善内容検討を行った。

・職員資質向上のため、①生活習慣②頭痛のタイプ別対応③熱中症対策④タンパク質の役割⑤価値のある雑談⑥肩こり腰痛解消運動⑦感染症⑧ストレスと生活習慣について研修した。

〇安全委員会

・看護師による実地指導を中心に行い安全な吸引実施に努めた。

・前回研修を受けてから期間が空いた職員の手技確認を行った。

《研修実績》

| 月 | 外部講師研修 | 施設内研修 |
|---|---|---|
| ４月 | レジリエンス、ストレス対応 | |
| ５月 | | C 型肝炎とは |
| ６月 | 褥瘡拘縮予防 | ＫＹＴトレーニング |
| ７月 | 口腔チェック、相談員研修 | |
| ８月 | 陰部洗浄、新任職員研修 | |
| ９月 | 看護職員研修、事務職員研修 | 高齢者介護施設等における感染対策 |
| １０月 | 普通救命講習、事故対応研修 | |
| １１月 | 看取り研修、リーダー研修、虐待防止研修 | |
| １２月 | 成年後見人研修、リハ担当研修 | 虐待防止、ノロウイルスについて |
| １月 | 中堅職員研修 | |
| ２月 | 口腔ケア研修、医務担当者研修 | |
| ３月 | | 人権擁護・法令遵守（上級)、虐待防止 |

《ボランティア受入・地域行事・施設行事》

| 月 | ボランティア | 地域行事・外出行事 | 施設行事 |
|---|---|---|---|
| ４月 | | 飯野ダム・右輪台桜見学 | |
| ５月 | | 四季の里バラ見学 | |
| ７月 | | 少林寺、紫陽花見学 | |
| ９月 | 保育園・松川芸能協会 | | 敬老会 |
| １０月 | | 安達ヶ原ふるさと村、二本松菊人形 | |
| １１月 | | 二本松菊人形、みんなの作品展 | 秋祭り |
| １２月 | 保育園 | 水原川白鳥見学、池ノ入りダム見学 | |

《行事食実績》

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月 | 季節のご飯、季節の味噌 | １０月 | みず和の郷開設記念メニュー、人気メニュー、仲秋の名月、ハロウィン文化祭、 |
| ５月 | 端午の節句 | | |
| ６月 | おはぎの日 | １１月 | 文化祭メニュー、手作りおやつ |
| ７月 | 七夕メニュー、季節の味噌、手作り紫蘇ジュース、五輪開幕メニュー | １２月 | 冬至（かぼちゃ)、Xmas メニュー、季節の味噌、年越しメニュー |
| ８月 | 手作りおやつ、お盆メニュー | １月 | 正月料理、三日とろろ、七草粥、おやつ |
| ９月 | 敬老会お祝い膳、秋分の日、手作り | ２月 | 節分、季節の味噌 |
| | おやつ | ３月 | ひな祭り、春分の日（ぼたもち)、ﾘｸｴｽﾄ |

## 《居宅介護支援事業所》

・包括支援センター、医療機関、介護サービス事業者など、多職種連携を図り、新規利用者の受け入れ、困難ケースにも対応できた。
・《利用者実績報告》より介護支援専門員１名あたり月平均 29 件作成。入院、入所、サービス利用なしの利用者も含めると平均 35 件。居宅支援費に繋がらないケースもあるが、サービス利用希望時スムーズに対応できるよう定期訪問、相談対応に努めている。
・３月より職員３名体制となり、福島市内はもとより二本松市内での活動の幅を広げられるよう広報活動も実施している（3 月新規 11 件）
・法改正により、当事業所でも要支援者の対応が可能になったため、いちはやく認可を得たこともあり、新規の問い合わせ件数が増加傾向にある。
・利用者の意向を尊重し、法人内事業所と連携することで、ショートステイの稼働率増加に努めた。

《利用者実績報告》

| | 居宅サービス作成件数 | 要支援 | 要介護 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ４月 | ５１ | | １６ | ２０ | １０ | 4 | 1 |
| ５月 | ５１ | | １９ | １９ | ９ | 3 | 1 |
| ６月 | ５６ | | ２０ | １９ | １１ | 5 | 1 |
| ７月 | ５８ | | ２０ | １９ | １２ | 5 | 2 |
| ８月 | ５９ | | ２３ | １７ | １３ | 4 | 2 |
| ９月 | ５９ | | ２３ | １８ | １３ | 4 | 1 |
| １０月 | ５９ | | ２５ | １８ | １１ | 4 | 1 |
| １１月 | ６１ | 1 | ２５ | １９ | １４ | 3 | 0 |
| １２月 | ６３ | 0 | ２８ | １８ | １４ | 3 | 0 |
| １月 | ６３ | 0 | ２７ | １９ | １４ | 3 | 0 |
| ２月 | ５７ | 0 | ２４ | １７ | １１ | 4 | 1 |
| ３月 | ５４ | 0 | ２４ | １９ | ９ | 2 | 0 |
| 合計 | ６９２ | 1 | 274 | 222 | 141 | 44 | 10 |
| 昨年合計 | ５５０ | 0 | 208 | 174 | 110 | 32 | 26 |

【苦情受付】　０件
ご利用者、ご家族の気持ちに寄り添い支援することを心掛け、日々の活動に取り組んだ

《資質向上のための会議参加・外部研修等》

| 実施月日 | 場所 | 参加者名 | 研修内容 |
|---|---|---|---|
| 5月23日 | 松川支所 | 高橋 | 松川地域ケア会議<br>「障がい福祉について」「就労支援、ケース事例」 |
| 6月6日 | ZOOM | 佐藤 | 脳神経内科WEBセミナー<br>「パーキンソン病リハビリステーションの満足度を高める外来医の役割」「パーキンソン病のACPと緩和ケア」 |
| 8月2日 | ひまわり苑 | 佐藤・高橋 | 福島県警交通第一課交通第一係<br>「高齢者の運転の実状について」 |
| 11月11日 | ZOOM | 佐藤・高橋 | 令和６年度　現任認定調査員研修 |
| 2月19日 | ZOOM | 佐藤・高橋 | 令和６年度　介護予防ケアマネジメント支援研修会<br>「自立支援のためのケアマネジメントの標準化」 |